

## 1 研究主題

外部講師や予備校を活用した進学指導体制の補強を図るとともに、授業力の向上のための教員研修に取り組み、選抜制の高い大学等への進学希望を実現できるという地域の期待に応える進学指導力を有する学校づくりについて研究する。

## 2 研究主題設定の理由

多くの生徒では基礎的な内容の学習に取り組む姿勢は安定しているため、知識が定着していれば解ける問題には対処できるが、思考力を伴う応用的な問題を苦手とするため、受験に対応できる学力の伸びが小さい。また、将来の進路目標の設定に対する意欲が弱く、自分の興味関心は考慮するものの「入りたい学校」より「入れる学校」へ流れる生徒が多い。そのため、生徒の学力伸長、進路実現への興味や意欲を高めることに加えて、教員の教科・進学指導力の向上が課題として考えられる。また、高い進路目標を実現できる学校として、地域からの信頼を高め、その期待に応えることができる学校となるのが、本校の存続の鍵ともなっている。

## 3 研究計画

### ① 進学指導体制の改善と向上

- (1) 授業改善研修会：予備校などの外部講座への参加を通して、教員の教科・進学指導力の向上を図る。
- (2) 先進校視察：高い進学実績を誇る高校の授業を視察し、自校の進学指導に役立てる。

### ② 生徒の進路実現意欲の喚起

- (1) 学年別講演 外部講師を活用、各学年における進路計画に沿って、一般的な大学進学またはキャリアプランニングに関する講演を行う。
- (2) 進学補習講座 3年生を対象に、予備校講師を招き、校内での進学補習授業を開講する。生徒の希望内容によって、小論文対策等も計画、実施する。

### ③ 学習環境の整備 校内での個人学習を推進するための環境整備に努める。

### ④ 習熟度別授業の展開、アクティブラーニング導入による思考力を伴う学力の養成

### ⑤ HPでの進路指導事業の掲載